

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0515 NO7

校長 伊波喜一

暗闇に 蚊帳 (かや) に入りて 耳澄ます 祖母の手枕 寝物語よ

昨年、文科省が行った全国の公立小中学校の調査では、約140万個の便器のうち、洋便器は61万個と普及率は43%にとどまりました。学校以外での洋式化の普及率を考えると、今後、学校でも洋式化が加速されることでしょう。私の小さい頃、畑の一隅には肥溜めがあり、強烈な臭いを漂わせていました。便所は戸外にある汲み取り式で、家庭に溜まってくると、肥え桶に小分けして肥溜めに運んでいました。その便所は始終薄暗く、裸電球さえも灯っていない夜の便所は怖くて、とても一人で行けたものではありませんでした。祖母が寝物語に「嘘つき (の子ども) が便所に入ると、底から赤い手が伸びてその子をつかみ、底へ引きずりおろすんだよ～」と言うので、なおさらでした。考えてみると、一つの言葉や一つの思いに向き合わざるを得なかった幼少期は、幸せだったかも知れません。ゲームもスマホもなく闇夜で想像をたくましくする以外になかったからこそ、考える習慣が自然に身に付いたとも言えます。不便だからこそ得られるものもあることを、改めて思っています。